

第2回アンケート

資源循環型清掃事業の展開を目指して

1 調査の概要

この報告書は、平成12年度第2回区政モニターアンケート「資源循環型清掃事業の展開をめざして」の回答をまとめたものです。

2 調査目的

区民の身近な問題であるごみ減量化へのかかわり方等について、区政モニターの意見等を聞き、今後の清掃事業を展開する上での参考とすることを目的として調査しました。

3 調査方法

調査票・回答とも郵送

4 実施時期

平成12年9月

5 対象者数、回答人数

対象者 48人 回答者 48人

6 回答者の性別・年代別・職業別・ブロック別の構成（年代はH12.6.1現在）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	1	1	1	1	9	0	13
女	3	11	9	10	2	0	35
合計	4	12	10	11	11	0	48

職業別	自営業 事業主	管理職 自由業	事務職 業務職	労務職 サービス業	パート タイマー	学生	主婦	無職	合計
人数	7	2	2	0	3	3	21	10	48

ブロック	17°ブロック	27°ブロック	37°ブロック	47°ブロック	57°ブロック	67°ブロック	77°ブロック
人数	3	4	4	6	7	4	5
ブロック	87°ブロック	97°ブロック	107°ブロック	117°ブロック	127°ブロック	137°ブロック	合計
人数	4	0	4	4	2	1	48

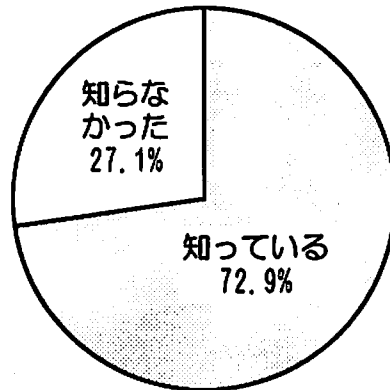
7 調査結果・分析の見方

回答の比率（％）は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100％を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100％に満たないまたは上回ることがあります。回答者数が未記入の場合は、その設問の回答者数は48人です。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

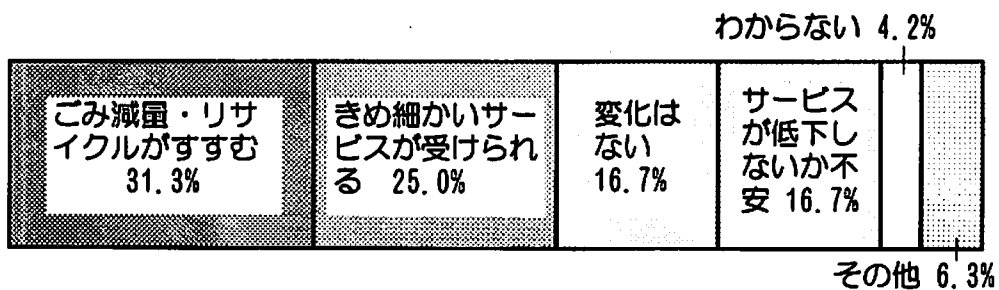
要旨

問1	清掃事業区移管の周知度	「知っている」	72.9%	(35人)
問2	移管により変わると思うこと			
		「ごみ減量・リサイクルがすすむ」	31.3%	(15人)
		「きめ細かいサービスが受けられる」	25.0%	(12人)
問3	ごみ処理における1人当たりの妥当な税負担			
		「5,001~10,000円」	33.3%	(16人)
		「10,001~15,000円」	18.8%	(9人)
問4	ごみ減量化に効果的な施策(複数回答)			
		「資源回収対象品目の拡大」	60.4%	(29人)
		「古紙を中心とした集団回収事業の拡大」	41.7%	(20人)
問5	回収に協力できる資源(複数回答)			
		「ペットボトル」	89.6%	(43人)
		「発泡トレイ」	81.3%	(39人)
問6	ごみ出し経験	「よく出す」+「たまに出す」	93.8%	(45人)
問7	ペットボトル店頭回収方式の周知度	「知っている」	91.7%	(44人)
問8	ペットボトル店頭回収方式の利用度(44人中)			
		「よく利用する」	43.2%	(19人)
		「たまに利用する」	22.7%	(10人)
問9	ペットボトル店頭回収方式を利用したことがない利用(8人中)			
		「ペットボトル商品は購入しない」	50.0%	(4人)
問11	ごみ集積所の設置場所	「決められた歩道上」	54.2%	(26人)
問12	ごみ集積所の清掃の仕方			
		「持ち回りの当番制」	31.3%	(15人)
		「利用者が自主的に」	25.0%	(12人)
問13	ごみ集積所の問題点(複数回答)			
		「ごみの分別が守られていない」	43.8%	(21人)
		「カラスや猫等がごみを散らかす」	29.2%	(14人)
		「区域外の人のごみを出している」	27.1%	(13人)
		「収集日以外の日にごみが出ている」	27.1%	(13人)
※ 問10「家庭で行っている資源の出し方」は省略				

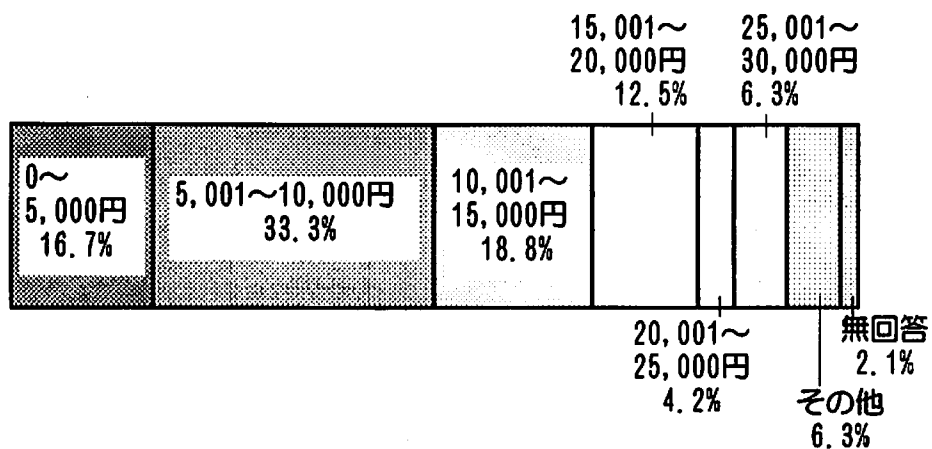
問1 平成12年4月1日より、東京都にかわり区が清掃事業を行うことになりましたが、あなたはこのことを知っていますか。



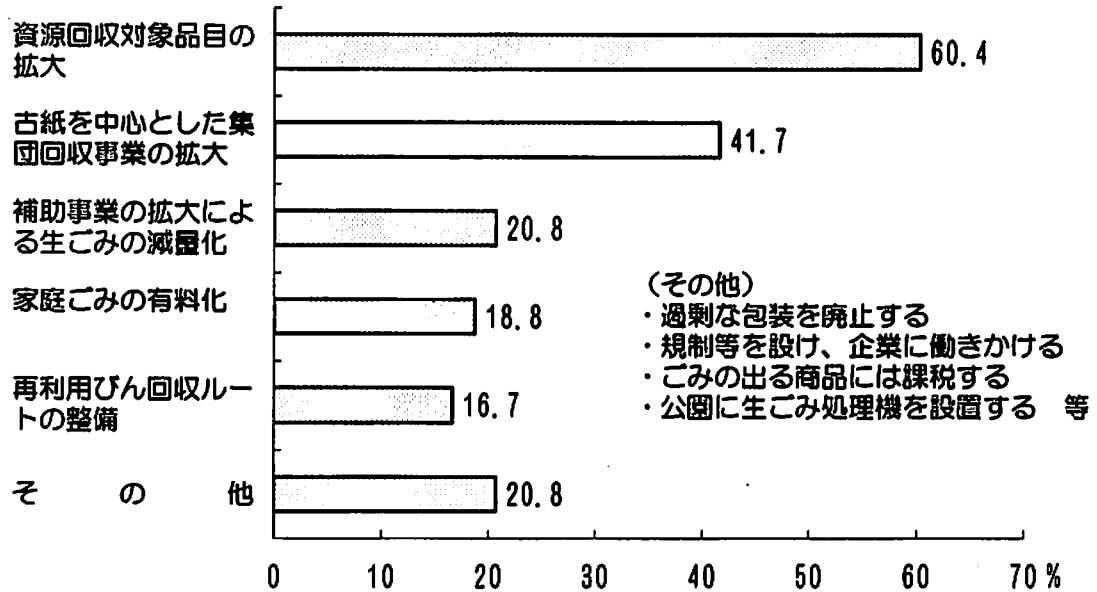
問2 清掃事業が東京都から区に移管になると、どのように変わるとお考えですか。



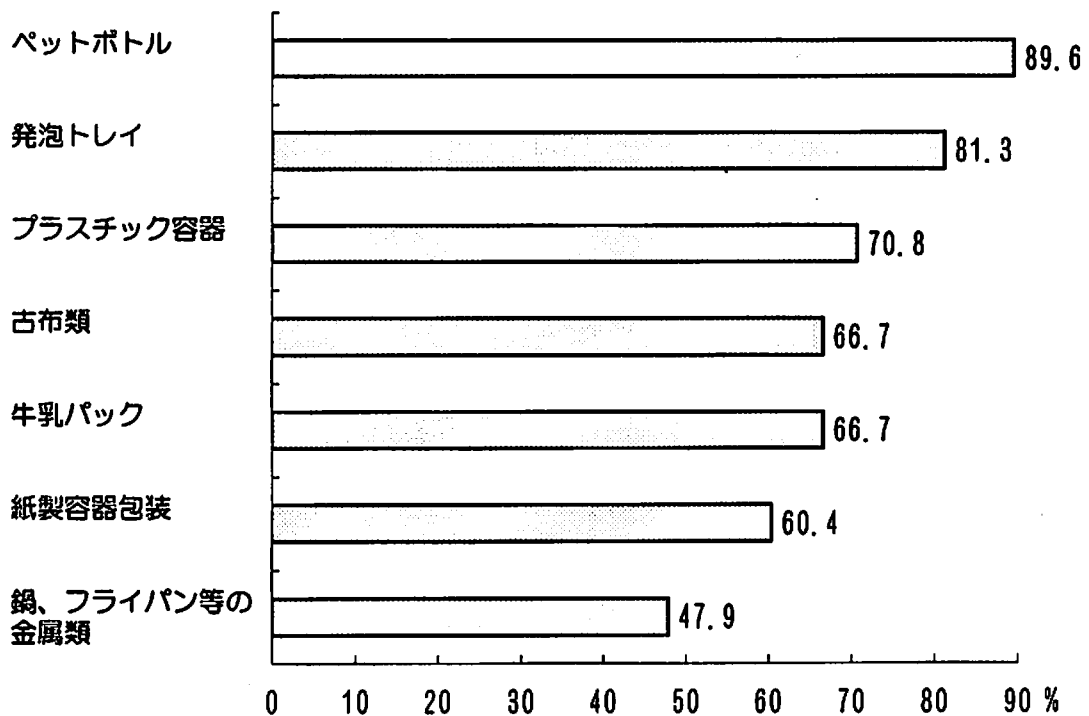
問3 ごみ処理に要する処理・運搬、中間処理、最終処分に伴う総経費は、区民1人当たり年間約20,000円かかっています。税金で負担されるごみ処理経費に対して、区民1人当たりの妥当な年間の負担額はいくらぐらいだと思いますか。



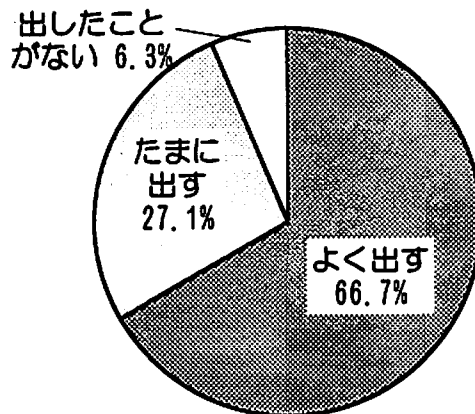
問4 ごみ処理経費を削減するには、ごみの減量化やリサイクルを推進していかなければなりません。足立区では、区民1人当たりのごみ排出量は年347kgにも及びますが、あなたは、ごみを減量化するために、次の施策のうちどれが最も効果的だと思いますか。(2つ以内)



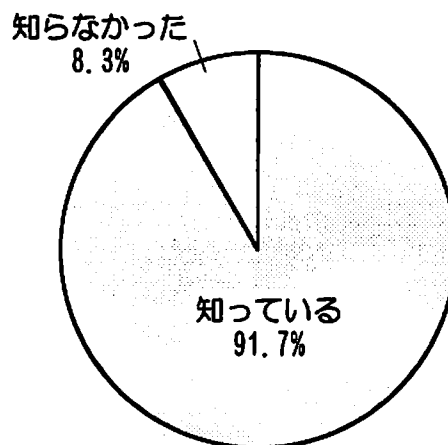
問5 足立区では、週に1回びん、缶、古紙の資源回収を実施しています。ごみ減量化のため、対象品目を拡大するとすれば、あなたは次のどの品目に協力できますか。(いくつでも)



問6 あなたは、ごみ収集日に可燃ごみや不燃ごみ又は資源をごみ集積所に出したことはありますか。



問7 現在、足立区ではコンビニ・スーパー等の協力を得ながら、ペットボトルを協力店の店頭回収ボックスにて回収しています。あなたは、この回収方式を知っていますか。



問8 問7で(1)を選んだ方にお聞きします。
あなたは、ペットボトルの店頭回収方式を利用したことがありますか。

44人中

よく利用する 43.2%	たまに利用 する 22.7%	1~2回利 用したこ とがある 15.9%	利用した ことがな い 18.2%
-----------------	-------------------	--------------------------------	-------------------------

問9 問8で(4)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、ペットボトルの店頭回収方式を利用したことがない理由をお答えください。

8人中

回収ボックスまで
捨てに行くのが面倒
12.5%

ペットボトル商品は 購入しない 50.0%	不燃ごみ として 出せばよい 25.0%		その他 12.5%
--------------------------	-------------------------------	--	--------------

※ 回収ボックスの設置場所がわからない 0人

※ 回収ボックスが自宅のそばにない 0人

※ 購入店でないところには持って行きづらい 0人

問10 下の表は、びん、缶、古紙、ペットボトルを資源として出すときの、正しい出し方の表です。あなたのご家庭で行っていることに○をつけてください。

品目	キャップをはずす	中を水ですすぐ
びん	40人	43人

※ 人数は、その欄に
○をつけた人の数

品目	中を水ですすぐ
缶	37人

品目	品目別に分ける	ひもでしばる
新聞・雑誌	37人	42人

品目	キャップをはずす	中を水ですすぐ	つぶす
ペットボトル	35人	36人	26人

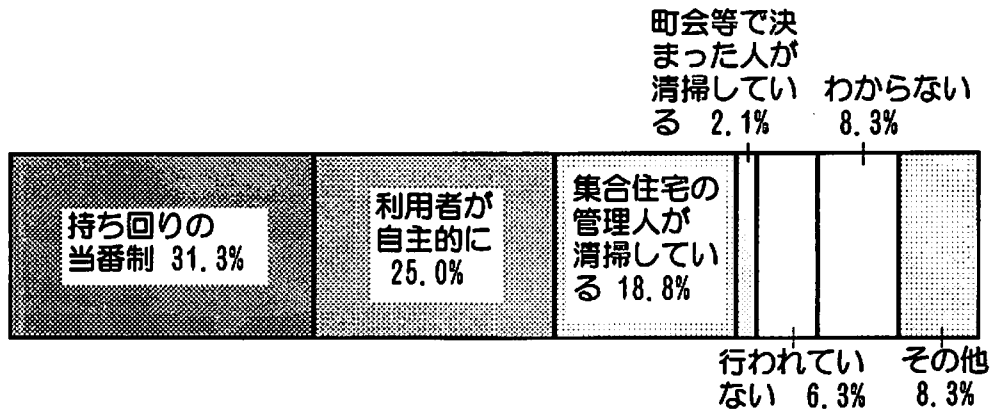
問11 あなたのご家庭が利用しているごみ集積所は、どのような場所に設置されていますか。

その他 6.3%

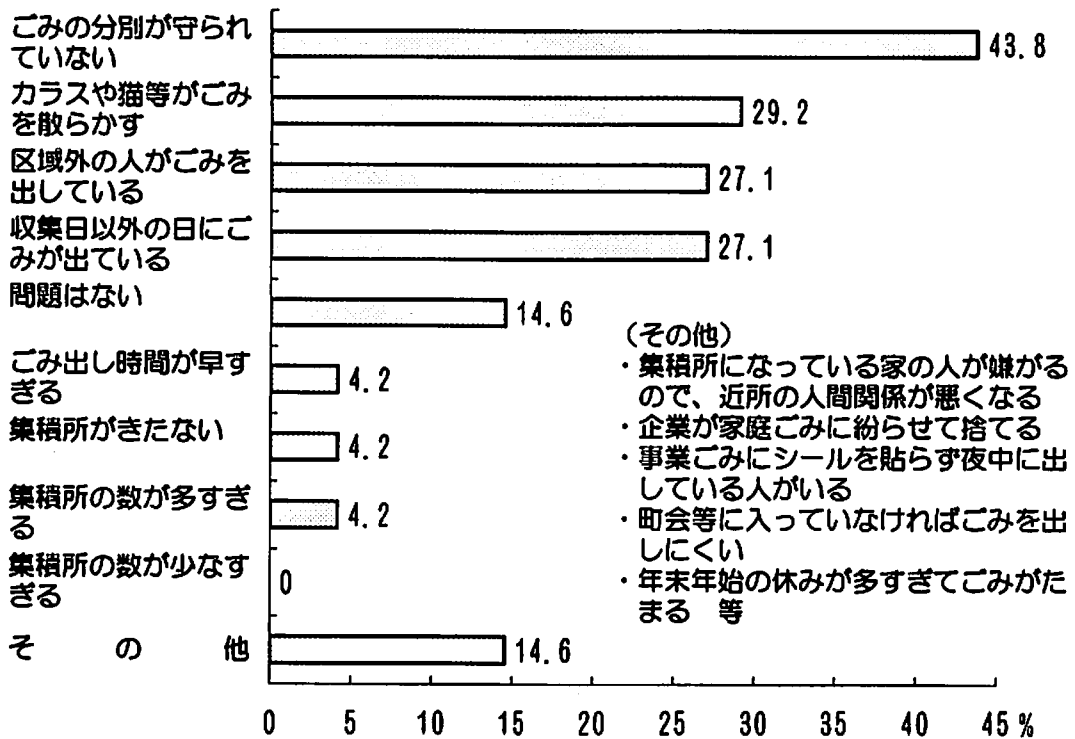
決められた歩道上 54.2%	決められ た家の前 20.8%	集合住宅 の廃棄物 保管所 18.8%	
-------------------	-----------------------	------------------------------	--

※ 当番の家の前 0人

問12 あなたのご家庭が利用しているごみ集積所は、日常どのように清掃されていますか。



問13 あなたのご家庭で利用している、またはその他区内のごみ集積所について、どのような問題があると思いますか。(2つ以内)



問14 足立区の清掃事業に関するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ごみの減量・リサイクルは、足立区だけではなく、日本全体ひいては地球全体の問題ともいえる。過剰包装の禁止や、リターナブルびんのようなリサイクルを前提とした商品開発など企業の努力が必要だ。そのために、厳しい法律を早急につくってほしい。

(20代 男性)

- ・ ゴミを出す時間や場所の問い合わせに親切に対応してくれた。暑く臭いも充満するので、夏のごみ収集は、手当を出してでも早朝もしくは深夜がよい。 (20代 女性)
- ・ 家の近くのごみ集積所では、ごみは決められた時間に、決められた分別方法できちんと出せていると思う。分別の数(種類)をもっと増やすとリサイクルでき、ごみの減量も実行できると思う。 (20代 女性)
- ・ 区民の出したごみをできるだけ早く運搬してほしい。ごみの臭いが強くなり、カラスが散らかすことがよくある。ごみ集積所の数が多すぎると思う。運搬や掃除に不便である。 (30代 男性)
- ・ ごみ収集は本当に大変なことだと思う。しかし、いずれ身に帰ってくることなので、できる限り協力するつもりだ。ただ、明らかに分別していないごみや粗大ごみの不法投棄が多い場所が見られる。この場合の処理方法はどのようにしているのか。ごみの有料化、過剰包装等の問題もある。 (30代 女性)
- ・ 利用している集積所は、収集時間が早く、出し遅れてしまう人が多い。1~2分離れている集積所は、昼頃まで収集に来ないので、区域外の人が出し迷惑しているようだ。近い場所で時間差があるのはどういうことか。近い場所に別々の収集車が来ること自体無駄ではないか。また、私達のごみ減量に対する意識は薄い。 (30代 女性)
- ・ 家電などが、修理代や部品の有無により使い捨て状態になりつつあるため、ごみが増えることになると思う。ごみを減らすために、我が家では、なるべく袋をもらわないように、消しゴム等はテープで印を付けてもらうように決めている。一人ひとりがごみを出さないように努力していきたい。 (30代 女性)
- ・ 子どもたちの指導にごみの出し方を取り入れるとよい。間違った出し方をしている人が毎週のようにいるが、どうしたものか。他で参考にすべき事例があれば知りたい。 (30代 女性)
- ・ ドイツ等で行われているように、もっと、企業に対して商品の容器や袋の最終処分に責任を持ってもらえるようにしてほしい。 (30代 女性)
- ・ 会社でゴミを出す時、資源ゴミにも有料シールを貼っている。しかし、清掃事業とは関係のない人が車で持って行ってしまう。何のために有料シールを貼るのかわからなくなる。 (30代 女性)
- ・ 旅行に行く時など、いつでもゴミを出すことができる場所があれば助かる。昼過ぎに回収に来ることがあり、その間、歩道がゴミに塞がれて通れず汚い。資源回収品目をぜひ拡大すべき。正月等に出されるごみ回収予定表がわかりづらい。 (30代 女性)

- 私の家は賃貸アパートである。以前は数棟で一カ所の集積所を利用していたが、清掃局から各棟で出すように指導された。しかし、以前使用していた集積所にごみが積まれ住民は困っている。 (30代 女性)
- ごみ集積所は、地域の住民が交流を持つ場でもあるので、いつもきれいにしておきたい。資源ごみを常に捨てられるような集積場所が、(昔のごみ箱のように)身近にあるとうれしい。また、週1回は少ない。 (30代 女性)
- もっと、資源回収に力をいれるべきだし、スーパー等の商品販売の過剰包装にも問題があるのではないか。発泡トレイ商品を減らすべきだと思う。 (30代 女性)
- ごみの行く末が心配だ。外国や過疎地区等に放置されているのではないか。ごみの処理には、金をかけてでも将来の人間に害のない方法で対処してほしい。企業のごみに対する意識を向上させてほしい。 (30代 女性)
- 資源ごみの回収前に、集積所を荒らしている人がいるようだ。見苦しく不快に思う。 (40代 女性)
- 清掃工場でのダイオキシン類対策について、近隣住民はもとより、業務従事者へも慎重な配慮を望む。発電設備新設後の利用法について、具体的なプランができていれば知らせて欲しい。 (40代 女性)
- 不用になったパソコン等に、「まだ使えます」と紙を張って集積所に置いておいたところ、1~2時間でなくなった。使ってくれる人がおり、粗大ごみとしなくてよかったと思った。できるかぎり不用品を有効利用できる方法を考えている (40代 女性)
- 町会等に参加していない人にごみの出し方を理解してもらうとともに、清掃やコンテナ保管等への参加意識を啓発してほしい。 (40代 女性)
- 自分自身も含めて、ごみに関しては反省する点も多い。事業系ごみのように、有料となったらみんな考えるのでは。しかし、家庭に負担を求めるよりは、トレイやプラスチック容器等の流通部門に一考願いたい。 (40代 女性)
- リサイクル事業推進の一環として、子どもたちも主体となるリサイクルを考えたい。 (40代 女性)
- 多品目資源ごみの回収・分別方法を学習する場を学校や町会等に設ける。資源ごみの品目を多くし、ごみの減量を図る。再生品活用には補助金を充て、値段を下げる。資源ごみ以外のごみ有料化を図る。多品目資源ごみ回収のルートを確立する。 (40代 女性)

- ・ ごみでなく資源という考え方の啓発が大切である。 (40代 女性)
- ・ 「区民1人当たり年間約2万円」という数字には、随分かかっているのだと驚いた。ごみ減量化は、私達一人ひとりが気を付けていかなければならない大きなテーマだ。私も区民の一人として、ごみを減らしていく工夫をしていきたい。 (40代 女性)
- ・ 各家庭での生ごみの処理について、もう少し徹底するようPRをお願いしたい。 (50代 男性)
- ・ 収集日以外の日にごみを捨てる人が多く、カラスや猫がごみを食い散らすので困っている。 (50代 男性)
- ・ ごみ処理経費を区民に周知した方がよい。プラスチック容器、びん等メーカーの負担を考えるべきではないか。 (50代 女性)
- ・ 可燃ごみを週3回から2回にしたが、夏は生ごみが臭くてたまらない。 (50代 女性)
- ・ 私の家の周辺は、ごみに関する認識が薄く、ごみ当番も決まらず、掃除や資源ごみのコンテナ出しをしていない状況である。駅への通り道なので、区域外の人でも平気でごみを置いていく。話し合う機会もなく、自主的な掃除にも限界がある。一人ひとりの区民が、ごみに対して危機感がなく、レベルが低いと思う。 (50代 女性)
- ・ 一人当たりの税負担額20,000円にびっくりした。新聞に、23区で一番ごみの量が多いのは足立区とあった。どの集積所を見てもごみの量は増えている。もっと、ごみを減らす努力を心がけていきたい。 (50代 女性)
- ・ 清掃事業は区だけの事業ではなく、地域住民の協力と努力が必至である。ワンルームマンションの場合、ごみ出しのルールが守られていないことがある。ごみ収集・清掃事業の重要性を区民に周知させる努力も必要と思われるが、各自がごみ減量化に向けて、いかに区と協力しうるかを模索する必要がある。 (50代 女性)
- ・ 週1回の不燃・資源ごみ収集、週2回の可燃ごみ収集は、定着してきていると思う。カラス・猫対策用のネット利用で、生ごみが散らばらず清潔になった。資源ごみの中には、ペットボトルの収集が必要だと思う。企業の責任で回収するのが当然とは思いますが、不燃ごみに出している人が多い。 (50代 女性)
- ・ 家庭と事業者の区別を明確にし、営業上のごみ処理には、確たる指導と回収方法を徹底すべき。 (60代 男性)

- ・ 年末年始の休みが長すぎるように感じる。 (60代 男性)
- ・ バイク、自転車、家電製品の不法投棄には怒りを感じる。不法投棄罰則条例を制定し、登録番号や製品製造番号等から所有者の追跡調査を行い、反則金を徴収するか、広報に氏名を公開したらどうか。 (60代 男性)
- ・ 集積所の問題が目立つのは、単身者アパートがある地域のような感じがする。従って、入居斡旋業者が、その地域の種別収集日を、入居者に説明することを義務づけたらどうか。歩道上の集積所で、廃止したとの掲示が出ている場所を何ヵ所か見たが賛成である。警告しても直らない所は、乱れが増すばかりだ。 (60代 男性)
- ・ 資源回収日の早朝から、新聞の回収をしている人がいる。無断で持ち去る人を規制できないのか。ごみ問題の根源は生産・流通・販売にある。これを改革しなければ問題解決しない。自動販売機を無くし缶入りの物を減らすこと等。 (60代 男性)
- ・ ペットボトルは、つぶれにくくかさばるので、廃棄物になると不便だ。特定スーパーの回収箱まで運びにくいのが実状である。つぶしやすい形状にするよう行政指導すべきだ。 (60代 男性)
- ・ 資源ごみ収集日は民間業者が缶と紙を集めている。リサイクル収集品が高く売れば自動的にリサイクルは進む。よって、木材・パルプ・原紙等の輸入自体を規制すればよい。行政から委託されている収集運搬業者はごみが減っても認めない。抜き打ちチェックを行うなど、収集・運搬業者を適正に監督することも必要だ。 (60代 男性)
- ・ 収集車の来る時間がまちまちなので、時間を一定にして欲しい。収集車の人たちが大変よくやっているのを助かっている。 (60代 男性)
- ・ 区の清掃業者が資源回収する前に、三輪トラックで業者(?)が回収してしまうのを何度か見ている。資源が完全に区に渡されるよい方法がないか検討してほしい。 (60代 女性)

平成12年度 第2回区政モニターアンケート

《資源循環型清掃事業の展開をめざして》

氏名 _____

平成12年度、足立区では「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、東京都から清掃事業の移管を受けました。

清掃工場におけるダイオキシン対策や、23区最後の最終処分場となった中央防波堤外側新海面処分場の延命化対策等、ごみ問題が社会的にクローズアップされている中、足立区としても、今後、ごみの減量、リサイクルの推進に積極的に取り組み、資源循環型清掃事業を構築していかなければなりません。

このようなことから、区民の皆さんにとって身近な問題であるごみ減量化へのかかわりかたについて、区政モニターの皆様のご意見をお聞きし、今後の清掃事業を展開する上での参考にさせていただきたいと思っております。よろしくご協力をお願いいたします。

※設問に、特にことわりがない限り1つを選んでください。

問1 平成12年4月1日より、東京都にかわり区が清掃事業を行なうこととなりましたが、あなたはこのことを知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 知らなかった

問2 清掃事業が東京都から区に移管になると、どのように変わるとお考えですか。

- (1) 地域の実情に合ったきめ細かいサービスが受けられるようになる
- (2) ごみの減量・リサイクルがこれまで以上にすすむ
- (3) 区に移管されても特に変化はない
- (4) 今までよりサービスが低下しないか不安である
- (5) わからない
- (6) その他（具体的に _____)

問3 ごみ処理に要する収集・運搬、中間処理、最終処分に伴う総経費は、区民1人当たり年間約20,000円程度かかっています。

※ 収集・運搬 / 可燃、不燃ごみ等を収集し、清掃工場や不燃ごみ中間処理（減容化）施設まで搬送する経費

※ 中間処理 / 清掃工場、不燃ごみ中間処理（減容化）施設を運営する経費

※ 最終処分 / ごみの埋立てに要する経費

税金で負担されるごみ処理経費に対して、区民1人当たりの妥当な年間の負担額はいくらぐらいだと思いますか。

円

問4 ごみ処理経費を削減するには、ごみの減量化やリサイクルを推進していかなければなりません。足立区では、区民1人あたりのごみ排出量は年347kgにも及びますが、あなたは、ごみを減量化するために、次の施策のうちどれが最も効果的だと思いますか。（2つ以内）

- (1) 家庭ごみの有料化
- (2) 古紙を中心とした集団回収事業(※)の拡大
- (3) 生ごみ処理機等購入費補助事業の拡大による生ごみの減量化
- (4) びん、缶、古紙に加えて資源回収の対象品目を拡大する
- (5) ビールびんなどの再利用びん回収ルートの整備
- (6) その他（具体的に _____)

※ 集団回収事業・・・町会や自治会等のグループで日時や場所を決めて資源（新聞、雑誌、空缶、古布等）を回収し、資源回収業者に引き渡すと、区から回収量に対して@6円/kgの報奨金が出ます。

問5 足立区では、週に1回びん、缶、古紙の資源回収を実施しています。ごみ減量化のため、対象品目を拡大するとすれば、あなたは次のどの品目に協力できますか。（いくつでも）

- (1) 発泡トレイ（スーパーで肉や魚がのっている白いトレイ）
- (2) ペットボトル
- (3) 牛乳パック
- (4) 鍋、フライパン等の金属類
- (5) 古布類

- (6) プラスチック容器（カップ麺容器、シャンプー容器、レジ袋等）
- (7) 紙製容器包装（菓子箱、包装紙、紙袋等）

問6 あなたは、ごみ収集日に可燃ごみや不燃ごみ又は資源をごみ集積所に出したことはありますか。

- (1) よく出す
- (2) たまに出す
- (3) 出したことがない

問7 現在、足立区ではコンビニ・スーパー等の協力を得ながら、ペットボトルを協力店の店頭回収ボックスにて回収しています。あなたは、この回収方式を知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 知らなかった

問8 問7で(1)を選んだ方にお聞きします。

あなたは、ペットボトルの店頭回収方式を利用したことがありますか。

- (1) よく利用する
- (2) たまに利用する
- (3) 今までに1～2回利用したことがある
- (4) まったく利用したことがない

問9 問8で(4)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、ペットボトルの店頭回収方式を利用したことがない理由をお答えください。

- (1) どこに回収ボックスが設置されているかわからない
- (2) コンビニ等に回収ボックスが設置されていることは知っているが、自宅のそばにない
- (3) 回収ボックスまで捨てに行くのは面倒だ
- (4) ペットボトルは不燃ごみの区分になっているので、不燃ごみとして出せばよい
- (5) 購入したお店でない所には持っていきづらい
- (6) ペットボトル商品はほとんど購入しない

問 10 下の表は、びん、缶、古紙、ペットボトルを資源として出すときの、正しい出し方の表です。あなたのご家庭で行なっていることに○をつけてください。

	キャップをはずす	中を水ですすぐ
びん		

品目	中を水ですすぐ
缶	

品目	品目別に分ける	ひもでしばる
新聞・雑誌		

品目	キャップをはずす	中を水ですすぐ	つぶす
ペットボトル			

問 11 あなたのご家庭が利用しているごみ集積所は、どのような場所に設置されていますか。

- (1) 決められた歩道上
- (2) 決められた家の前
- (3) 当番の家の前
- (4) 集合住宅の廃棄物保管場所
- (5) その他（具体的に _____)

問 12 あなたのご家庭が利用しているごみ集積所は、日常どのように清掃されていますか。

- (1) 集積所を利用している人が自主的に掃除している
- (2) 集積所の周辺の住民が、持ち回りの当番制で掃除している
- (3) 自治会・町内会等で決まった人が掃除している
- (4) 自分の住んでいるマンション・アパートの管理人が掃除している
- (5) 掃除は行われていない
- (6) 掃除が行われているかどうかわからない
- (7) その他（具体的に _____)

問 13 あなたのご家庭で利用している、またはその他区内のごみ集積所について、どのような問題があると思いますか。（2つ以内）

- (1) 集積所の数が多すぎる
- (2) 集積所の数が少なすぎる
- (3) 集積所がきたない
- (4) ごみの分別が守られていない
- (5) 収集日以外の日にごみが出ている
- (6) カラスや猫等がごみを散らかす
- (7) 区域外の人のごみを出している
- (8) ごみ出し時間が早すぎる
- (9) 問題はない
- (10) その他（具体的に ）

問 14 以上の設問を通して、足立区の清掃事業に関するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。（自由回答）

ありがとうございました。